２０１５年度　公益社団法人乙訓青年会議所　委員長方針

総務財政委員会　委員長　能見　太郎

乙訓青年会議所は、１９７９年に誕生し「明るい豊かな社会」の実現という理念のもと創立３５周年を迎える事が出来ました。そして、先輩方が志に向かい強い信念を持って諦める事無く活動され、想いと誇りを今日まで引き継いでこられました。その理念を我々もしっかり引き継ぎ、大きな志と夢を持って行動し次代へと繋げて行かなければなりません。また、５年目を迎える公益団体として今後も地域から必要とされ、信頼される団体になる為にも管理体制、組織運営を妥協無く行い、これまで築き上げられて来た組織基盤をもとに組織力を向上させる必要があります。

本年度、総務財政委員会はこれまで脈々と引き継いで来た会議運営を維持しながら、更に議案書フォームを進化させると共に、議案上程前に各自でしっかり最終確認が出来るチェック表を導入し、限りある時間の中でより円滑な会議が行える様に運営します。また「計画、実行、検証、引き継ぎ」の流れの中で各委員会と意志の疎通を密に図り、情報を共有しながら議案上程時により活発な議論を行って頂ける様に運営します。

公益社団法人として市民に開かれた公な団体である自覚を再認識すると共に、運営方法や予算編成、執行に関するチェックやコンプライアンスに対する意識を周知徹底し信頼性、透明性の高い管理体制を築きます。また、皆様の貴重な年会費から拠出する事業費に於いて予算執行に問題が無いか精査するだけで無く、事業の目的に於ける費用対効果も審査していきます。役員セミナーでは、理事長の講演を通して本年度の活動方針と方向性を理解して頂きます。そして、初めて役員を担われるメンバーが多数おられる事を考慮し、講師の方に役員としての責任や心構えを伝えて頂くと共に、ビジョンと現状と課題についての講演を通して、役員としての自覚と誇りを持ち新たな気持ちで１年のスタートを切って頂きます。事務事項説明会では、効果的な会議と運営基盤を確立する為にもロバート議事法の説明を交えて会議のシステムとルール、会議運営を理解して頂き円滑な組織運営を行える様に備えます。１２月例会では、１年間の活動の集大成として顕著な活動を行ったメンバーを称え、理事長に各委員会活動を振り返り総括して頂きます。そして、全てのメンバーが夢と誇りを持ち、目的に向かって次年度に邁進して頂ける様に設えます。また、各担当委員会と連携し「明るい豊かな社会」の実現を目指す為のまちづくりや青少年育成事業、理念を共有出来る同志を増やす為の会員拡大に於いても率先して参加、協力させて頂きます。

会議運営を担う委員会としての責任と誇りを持ちながら、厳しく妥協せずに守るべきルールを周知徹底して参ります。そして「人の為に燈火となり灰になるまで燃え尽きよう」をテーマに１年間委員会メンバーに、人の為に役立つ喜びと感動を共有して頂き、共に情熱を灯し各委員会に思いやりを持ってサポートして参ります。